

令和6年度 第1回神戸市校区調整審議会 議事要旨
(指定学校の変更を認める地区の指定について)

質 問	説 明
就学希望選択制を実施した場合、横尾小学校の児童はどの程度増えると見込んでいるのか。	2024年10月に実施した就学希望選択制の利用希望アンケートによれば、新1年生は15人、新2年生は3人の利用が見込まれる。制度を実施しなければ新1年生は1クラスの見込みであるが、この結果のとおりとなれば、2クラスに増えることが期待できる。
アンケートで就学希望選択制を利用したいと回答した世帯はどのあたりに住んでいるのか。	就学に向けた正式な手続きではないので、個人情報保護の観点から回答者の住所は収集していない。なお、妙法寺小学校よりも横尾小学校の方が近い地域に居住する児童の利用希望が多いのではないかと推測される。
妙法寺小学校は児童数に対して学校の敷地が狭い印象がある。就学希望選択制によって学校環境の改善が期待できるのか。	妙法寺小学校では、暫定校舎の建設や普通教室の確保、運動場の拡大など、児童数の増加に対応するために様々な対策を講じてきた。就学希望選択制を実施することで過密状況を少しでも緩和し、学校環境の改善に繋げることができればと考えている。
将来的に校区の変更を行う可能性はあるのか。	就学希望選択制を実施する場合は来年度以降も継続して行う予定であるが、就学希望選択制の利用状況等を踏まえつつ、必要に応じて校区変更も含めた取り組みを検討したいと考えている。
妙法寺小学校校区から横尾小学校には安全に通学できるのか。	横尾小学校校区内の通学路は、歩道と車道が分離して整備されているなどしており、比較的安全である。妙法寺小学校校区から横尾小学校に通学する場合は、交通量の多い幹線道路を横断する必要があるが、横断歩道には信号が設置されており、阪神高速の妙法寺IC近くには歩道橋も設置されているなど、交通安全対策は施されている。
妙法寺小学校校区に住んでいる児童が横尾小学校への就学した場合、横尾小学校の学童保育コーナーを利用することはできるのか。	妙法寺小学校校区から横尾小学校へ就学した場合でも、横尾小学校の学童保育コーナーを利用することができる。
就学希望選択制を実施している学校において、何らかの課題が生じているところはあるのか。	特に課題があるとは聞いていない。
意 見	
横尾小学校の小規模化と妙法寺小学校の過密化への対応が目的ではあるが、妙法寺小学校区に居住する児童・保護者にとっては就学先の選択肢が増えることになるものであり、就学希望選択制の取り組みは良いアイデアだと思う。	
子供を通わせたい学校を基準として住まいを決める家庭は多いだろうが、実際に通学しはじめると、もっとゆったりした環境で学ばせたかったと思うなど、別の選択肢があったかもしれないと考えることもあるのではないだろうか。そうしたときに、就学希望選択制が実施されていればいいのではないかとと思われる。	